

集合処理方式から個別処理方式への転換に関するQ & A 概要

概要

- 人口減少等に伴う使用料収入の減少や老朽化に伴う更新需要の増大など、下水道事業を取り巻く状況等に対応するため、経営改善の取組の一つとして、集合処理方式（公共下水道や集落排水等）から個別処理方式（合併処理浄化槽）への転換を検討する自治体が多くなっています。
- 本Q & Aについては、各自治体において、地域の特性等に応じた最適な汚水処理方式を検討・選択できるよう、検討の際の参考資料として、転換にあたって必要となる事務手続や活用可能な制度等について、Q & Aの形でお示しするものです。

掲載内容

- 浄化槽への転換を検討している自治体が直面した手続上の疑問点等を聞き取りの上、関係省庁が連携し、Q&A形式で解説
- 先行事例（静岡県南伊豆町など）の検討プロセスや政府予算案等を踏まえた活用可能な制度等について最新の情報を掲載

1. 浄化槽転換の方向性の検討

Q、浄化槽転換を検討する際のパターンや転換の判断にあたって必要となる検討要素、転換までの実際の流れについて教えてください。
(→静岡県南伊豆町などの先行事例等も踏まえて、浄化槽転換にあたって必要となる検討事項や検討プロセス等について解説します。)

Q、浄化槽への転換にあたって、住民に対してどのように説明したらいいですか。
(→静岡県南伊豆町において実際に浄化槽転換を行った際の住民への説明内容等について解説します。)

2. 下水道施設の撤去

Q、集合処理方式の既存施設を撤去する場合、不要となる施設や過去に受けた国庫補助金等はどうに取り扱えばいいですか。必要な手続きについて教えてください。
(→管路などの既存施設の撤去方法、法令や各省庁の規則などで定められている事務手続等について解説します。)

Q、既存施設の撤去にあたって、活用可能な国庫補助金や地方財政措置があれば教えてください。
(→令和8年度政府予算案等の内容を踏まえて、農林水産省や国土交通省の国庫補助事業や新たに創設された公営企業経営改善特例債について解説します。)

3. 浄化槽の設置

Q、浄化槽を設置するにあたって、公共浄化槽と個人設置型浄化槽のどちらを選択した方がいいですか。
(→公共浄化槽と個人設置型浄化槽の整備手法の違いを含めて、それぞれのメリット・デメリットについて比較して解説します。)

Q、浄化槽を設置するにあたって、活用可能な国庫補助金や地方財政措置があれば教えてください。
(→令和8年度政府予算案等の内容を踏まえて、環境省の国庫補助金や下水道事業債等の地方財政措置について解説します。)

※ 今後、地方団体から追加で寄せられた疑問や各省庁の制度の見直し等を踏まえて、随時、更新を行っていく予定